



Title	中国研究集刊 荒号（第8号） 田龍通信/奥付
Author(s)	
Citation	中国研究集刊. 1989, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/60822
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

田龍通信

＊ 執筆者紹介（目次順）

竹田 健二 弓削商船高等専門学校専任講師

藤居 岳人 大阪大学大学院学生

湯城 吉信 大阪大学大学院学生

花崎隆一郎 武庫川女子大学非常勤講師

近藤 光男 お茶の水女子大学名誉教授

加地 伸行 大阪大学教授

＊学術雑誌の運営はどれも大変である。編輯責任者と、おたがい苦勞話ばかりである。しかし、それでいい。運営に苦勞するその分だけ真剣ということになる。だから、刊行ごとに、喜びもまた大きい。このごろ、比喩的には、学術雑誌とは新劇では

ないかと思っている。新劇の観客はわずかであり、しかも眼が肥えていて厳しい。一方、演ずる側は、したいことを演じて、大赤字、というわけである。さて、この大赤字、どう埋めるか。やむを得ないので、責任者が商業演劇に出演して稼ぎ出しては埋めることになる。私がなぜ商業演劇にも出演するのか、その意味が分らないで悪口を言う人もいる。そういう人は、自分のことだけを考えて人生を送れる幸せな人である。さて、商業演劇出演をしないとすると、新劇の場合、観客の動員という方法もあるが、収入を上げるため大衆化してしまう危険性がある。大衆に媚びてはおしまいであるから、やはりなんとか資金を作っては、だれも観に來ない大赤字の活動をシコシコと続けるほかはない。独り楽しむ道楽みたいなものである。（加地伸行）

中国研究集刊

ISSN 0916-2232

編輯・発行

郵便振替口座番号

荒号（1989年11月21日刊）〔総第8号〕

大阪大学文学部中国哲学研究室

加地伸行

（560 豊中市待兼山町1-1、大阪大学内）

大阪 6-34413

中国研究集刊

印刷・タカラ写真製版㈱